

## 【公益】社会福祉・福祉施設の補修

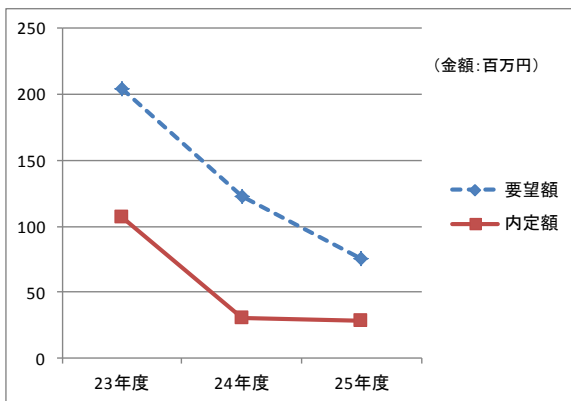
### 1. 補助の目的・概要

本財団が過去に建築補助を行った福祉施設の補修については、平成 23 年度から本財団の補助事業として支援することとなった。

平成 23 年度の公益事業振興補助においては、屋根、外壁からの漏水の補修等について補助を行った。

### 2. 補助実績（件数・金額）

社会福祉・福祉施設の補修





年度	要望数 (件)	要望額 (百万円)	内定数* (件)	内定額* (百万円)
23年度	14	204	11	107
24年度	11	123	4	30
25年度	6	75	2	28



※辞退となった事業を除く

平成 23 年度においては、14 件 2 億 400 万円の補助要望があり、そのうち児童福祉施設の補修 1 件に 400 万円、老人福祉施設の補修 5 件に 5,600 万円、障害者福祉施設の補修 5 件に 4,700 万円、合計 11 件に対し、1 億 700 万円の支援を行った。

### 3. 補助事業の事例

平成元年 3 月竣工の特別養護老人ホーム（定員 94 名）の性能維持のため、防水補修工事を行った。（社会福祉法人 恵和会）

改修前	改修後	工事内容
		外壁からの漏水の補修

改修前	改修後	工事内容
		屋上全面防水シート施工、屋根からの漏水の補修

#### 4. 補助事業の成果

児童福祉施設では、(福)久美愛園が昭和62年に建設した知的障害児施設久美学園(定員65名)の食堂棟の防水補修工事を行った。児童が食堂を利用しながらの工事となったため、工期は遅延したが、児童の生活確保を優先することができた。その結果、食堂棟内の壁の亀裂等が無くなり、より清潔な環境を利用者に提供できるようになった。

老人福祉施設では、(福)恵和会が平成元年に建設した特別養護老人ホーム(定員94名)の性能維持のため、防水補修工事を行った。その結果、施設入居者の生活の場として、通所者の憩いの場としての環境の快適化という目的も果たせた。本補修工事を行ったことにより、施設管理委員会で施設環境面を継続的にサポートしていく体制ができた。

障害者福祉施設では、(福)大森福祉会が平成4年に建設した大森授産所(就労移行支援定員15名、就労継B型定員20名)の性能維持のため、屋根・外壁からの漏水の補修を行った。外壁のひび割れ、漏水による床の損傷や内壁の変色が見られ、また深夜の積雪時には漏水により火災警報機が誤作動し地域から苦情が出る等の不具合が生じていたが、工事後は外観の改善および雨漏りが無くなり、施設関係者がより快適に過ごせるようになった。また、福祉避難所としても指定されているため、地域の社会資源としての価値も高まった。

その他の補修事業においても、施設の耐久性を向上することで、入所者・利用者への安心安全なサービス提供、将来にわたって継続して福祉サービスを提供できるようになった。

#### 5. 補助事業の評価

事業完了後の事業者の自己評価の総合評価は、評価対象11件のうち、5段階評価で、評価4[比較的高い]が9件、評価3[ほぼ問題ない]が2件であった。

事業者の自己評価等を踏まえJK Aで評価を行ったところ、A+[比較的高い]が6件、A[概ね十分]が5件と、全ての事業で補助事業として概ね十分と評価されるA以

上の評価となっており、補助の目的としている社会福祉の増進に寄与することができたと思われる。

#### 6. 今後の検討課題

過去に建築補助を行った社会福祉施設も、経年劣化により補修の必要が生じることは避けられないが、補助事業で建築したことで事業者の資金計画、収支計画は補助がない場合と比べて余裕があるものとなっていなければならない。

とはいえ、実際に補修をしなければ利用者に不具合が生じることとなる施設は少なくないことから、引続き支援することとするものの、補修の内容、必要とする理由、それまでの利用状況や事業者の経営内容等を精査する必要がある。